

まちの話題



邑久剣道スポーツ少年団の協力のもと、防具を装着

日本の文化を体験

日独スポーツ少年団 同時交流受入事業

日独スポーツ少年団同時交流受入事業で、ドイツからドイツスポーツユース（少年団）の団員らが訪れ、8月2～6日の5日間、市内の児童や生徒、市民と交流を深めました。

訪れたのは、ダンスやレスリングのスポーツに取り組んでいる16～27歳の団員と指導者の計10人。3日、団員らは邑久高校の生徒らとニュースポーツで汗を流し、スポーツ・学校生活をテーマにしたディスカッションなどで交流しました。4日は、邑久剣道スポーツ少年団の子どもたちと一緒に剣道のけいこ。実際に防具を付け、すり足や面の打ち込みの練習に挑戦しました。また団員らは、4日から市内にホームステイし、日本の生活習慣を体験しながら、ホストファミリーの皆さんと楽しい時間を過ごしました。



邑久高校生徒とテーマディスカッション



いつまでお元気なぞ

寺尾良恵さんが満100歳

8月9日、100歳を迎えた寺尾良恵さん（邑久町向山）のお祝いに、黒明輝雄備前県民局健康福祉部長や立岡脩二市長が、自宅を訪問しました。寺尾さんは、立岡市長らの訪問を大変喜び、

好きな野球の話などで会話が弾んでいました。（邑久町向山）のお祝いに、黒明輝雄備前県民局健康福祉部長や立岡脩二市長が、自宅を訪問しました。寺尾さんは、立岡市長らの訪問を大変喜び、好きな野球の話などで会話が弾んでいました。寺尾さんの元気の秘訣は、3度の食事をおいしくいただくことで、お肉も好んで食べます。これからも元気で過ごしてください。



立岡市長からお祝い状を受け取る寺尾さん(右)

家族連れで大盛況!

とうもろこし大収穫祭

邑久町下笠加のトウモロコシ畑で7月21・22日の両日、恒例のとうもろこし大収穫祭が開催され、多くの家族連れが訪れました。農事組合法人・ネオアシスタント淳風（馬場勇代表理事・11人）が、1・5ヘクタールの畑に甘みの強いゴールドラッシュ品種を栽培。大きく実った約6万個のトウモロコシは、来場者の手で瞬く間に採り尽くされました。実のぎっしりと詰まったトウモロコシをもぎ取り、収穫の喜びを味わった澤谷春花ちゃん（5歳・備前市）は、「自分でちぎったトウモロコシを、おうちに帰って早く食べたい」とうれしそうに話していました。



もぎたてのトウモロコシ、早く食べたいよー

楽しい夜のひととき

長島納涼夏まつり

ハンセン病国立療養所長島愛生園で8月7日、第32回長島納涼夏まつりが開催され、大勢の皆さんが入所者とともに祭りを楽しまれました。設営されたやぐらの前で、同園看護部のおみこしやよさこいソーラン踊りなど

が次々に披露され、祭りを盛り上げました。また、福引大会も行われ、大勢の家族連れでにぎわっていました。催しが終わると、約1,000発の花火が夜空に打ち上げられ、大勢の皆さんの目を楽しませました。



長島愛生園看護学生の皆さんが阿波踊りを披露

夜空に大輪、観客を魅了

牛窓花火大会

8月4日、夏恒例の牛窓花火大会（牛窓町イベント実行委員会主催）が開催され、2,000発の花火が夜空を彩りました。浴衣姿の男女や家族連れ約2万人が見物に訪れ、打ち上げ前から会場は大にぎわい。午後8時のフアンファールを合図に、一文字波止から次々と花火が打ち上げられ、色とりどりの大輪が夜空に咲くたびに、観客から大きな歓声が上がっていました。今年もボランティアスタッフが「花火あげ隊」が募金・寄付金を募り、大会成功に一役買いました。

どこの景観が好きですか?

景観まちづくりワークショップ

本市特有の豊かな自然や歴史的な景観を保全するためのまちづくりと一緒に考えようと、景観まちづくりワークショップが7月28日、邑久町総合福祉センターで行われました。

5回開催予定のワークショップの1回目に、各地域から中学生以上の市民24人が参加。市内の代表的な景観のイメージ写真を見て判定する、景観

はたあげゲームを実施。その後、3グループに分かれて、お気に入りスポットや不満な景観などについて、それぞれ活発な意見が交わされました。

なお、今回出たさまざまな意見をもとに、第2回「景観資源を整理しよう」が9月29日に開催予定です。

お問い合わせ先

市政策調整室

0869-22-1113



色鮮やかな花火が打ち上げられるたびに、観客から大きな歓声が上がっていました